

令和5年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

一般科目教室(1~5年)

本科(準学士課程)						
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	(各学科専門科目:座学,製図等)	(各学科専門科目:座学,製図等)	日本語Ⅱ (各学科専門科目:座学,製図等)	工学倫理 (各学科専門科目:座学,製図等)
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1 英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講
	2 日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年
	3 わかりやすい 図表等を作成 し、それを用い て日本語により 効果的な説明 ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要 なデザインマ インドを身に 付ける。	1 課題に対して 自主的に問題 を発見し、解決 方法を探求し て問題解決能 力の重要性を 認識できる。			(工学演習, 工学 実験, 創成科目 等)	(創成科目等)	
RE 実践的能力と 論理的思考 能力を身に付 ける。	1 実験・調査など の経験を通し てデータの解 析法を学び、理 論との比較や 考察などがで きる。				(工学演習, 工学 実験等)	(工学演習, 工学 実験等)
	2 課題の背景を 理解し、習得し た知識を生か して適切な方 法を選んで実 験・調査などを 遂行し、デー タを解析・考 察すること により、結果 を客観的に 説明できる。					卒業研究
	3 身体・健康・ス ポーツに関す る知識と実践 力を獲得する ために各自の 能力に応じて 目標を設定し 、個人あるいは グループで課 題を達成でき る。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実 習	

各学科共通（令和5年度 第1～5学年）

授 業 科 目		単 位 種 別	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考	
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必 修 科 目	国 語	国語Ⅰ	2	2						留学生は対象外
		国語Ⅱ	2		2					
		国語Ⅲ	2			2				
		国語表現	2				2			
	社 会	公共社会Ⅰ	2		2					留学生は対象外
		公共社会Ⅱ	1			1				
		公共社会Ⅲ	1			1				
		歴史Ⅰ	2	2						
		歴史Ⅱ	2		2					
		地理Ⅰ	1	1						
	数 学	基礎解析A	4	4						
		基礎解析B	3	3						
		解析Ⅰ	4		4					
		線形代数	2		2					
		解析Ⅱ	3			3				
		解析Ⅲ	B	2			2			
	理 科	物理基礎	2	2						
		物理	3		3					
		化学Ⅰ	2	2						
		化学Ⅱ	2		2					
		生物	1	1						
	保 健 体 育	保健体育Ⅰ	4	4						
		保健体育Ⅱ	2		2					
		保健体育Ⅲ	2			2				
		生涯スポーツ実習	2				2			
	芸 術	美術	1		1					
		音楽	1	1						
	外 国 語	英語Ⅰ	4	4						留学生は対象外
		コミュニケーション	2	2						
		英語Ⅱ	4		4					
英語Ⅲ		4			4					
英語Ⅳ		B	2			2				
英語Ⅴ		B	2				2			
第2外国語Ⅰ	2				2					
工学倫理		1					1			
修 得 単 位 計			79	29	24	13	10	3		
選 択 必 修 科 目	第2外国語Ⅱ		1					1	2単位以上 修得すること	
	第2外国語Ⅲ		1					1		
	言語文化特講		1					1		
	日本語表現演習		1					1		
	日本文学論		1					1		
	哲学		1					1		
	歴史学特講		1					1		
	数学特講		1					1		
	英語特講		1					1		
	他大学等科目(一般)		1					1		
修 得 単 位 計			2以上					2以上		
修 得 単 位 合 計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	13	10	5以上		
外 国 人 留 学 生 修 得 単 位 計			73以上	29	24	9	6	5以上		
(特 設 必 修 科 目)	日本語Ⅰ		2			2			留学生のみ対象	
	日本語Ⅱ		2				2			
	基礎数学		2			2				
	基礎物理		2			2				
	修 得 単 位 計			8			6	2		
外 国 人 留 学 生 修 得 単 位 合 計 (卒業認定必要単位数)			81以上	29	24	15	8	5以上		

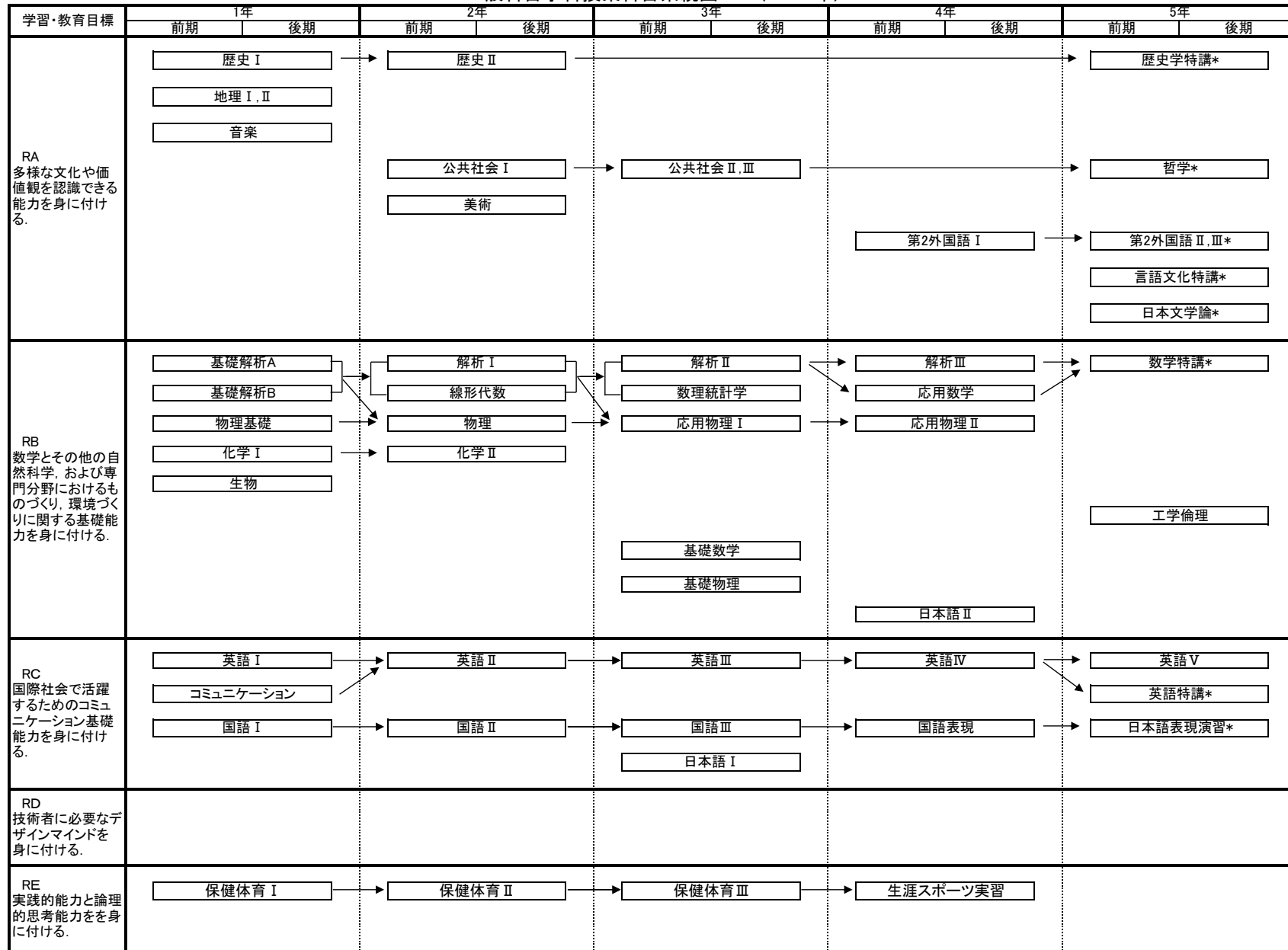
(注) 学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A：15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B：30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C：45時間の授業で1単位とする。3（実験、実習のみ可）

一般科学科授業科目系統図 (1~5年)



*: 選択必修科目

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	C言語基礎 機械工作法Ⅰ 材料学Ⅰ 機械工作実習Ⅰ 機械製図	C言語応用 機械工作法Ⅱ 材料学Ⅱ 材料力学Ⅰ 流れ学Ⅰ 電気工学 機械工作実習Ⅱ 機械設計製図Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 機械設計法 材料力学Ⅱ 工業力学 機構学 流れ学Ⅱ 熱力学 電子工学 センサ工学 機械設計製図Ⅱ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 機械計算力学 材料科学 流体機械 伝熱工学 熱機関 システム工学 材料力学Ⅲ 振動工学Ⅰ 振動工学Ⅱ 自動制御Ⅰ 自動制御Ⅱ CAD・CAE 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。			メカトロニクス実習	知能機械演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				機械工学実験Ⅰ	機械工学実験Ⅱ
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

機械工学科(令和5年度 第1～5学年)

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考	
			1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	数理統計学		2			2			
	応用数学	B	2				2		
	応用物理Ⅰ		2			2			
	応用物理Ⅱ	B	2				2		
	専門基礎Ⅰ		2	2					
	専門基礎Ⅱ		2	2					
	専門基礎Ⅲ		2	2					
	C言語基礎		1		1				
	C言語応用		1			1			
	機械計算力学		1					1	
	材料学Ⅰ		1		1				
	*材料学Ⅱ		2			2			
	機械工作法Ⅰ		2		2				
	機械工作法Ⅱ		1			1			
	材料力学Ⅰ		2			2			
	材料力学Ⅱ	B	2				2		
	熱力学	B	2				2		
	*伝熱工学		1					1	
	流れ学Ⅰ		1			1			
	流れ学Ⅱ	B	2				2		
	工業力学	B	2				2		
	機構学		1				1		
	機械設計法	B	2				2		
	*自動制御Ⅰ		1					1	
	振動工学Ⅰ		1					1	
	*センサ工学		1				1		
	電気工学		2			2			
	電子工学		2				2		
	機械製図		4		4				
	機械設計製図Ⅰ		3			3			
機械設計製図Ⅱ		2				2			
CAD・CAE		1					1		
機械工作実習Ⅰ		4		4					
機械工作実習Ⅱ		3			3				
メカトロニクス実習		1			1				
知能機械演習		2				2			
機械工学実験Ⅰ		2				2			
機械工学実験Ⅱ		2					2		
卒業研究		9					9		
修得単位計		78	6	12	20	24	16		
選択科目	材料力学Ⅲ		1				1		
	*熱機関		1				1		
	*流体機械		1				1		
	自動制御Ⅱ		1				1		
	振動工学Ⅱ		1				1		
	システム工学		1				1		
	*材料科学		1				1		
修得単位計		5以上					5以上		
必修科目	プロジェクト演習		1			1			
学際カリキュラム	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1		1		2単位以上修得すること	
		電力エネルギー工学	A	1		1			
		電磁場エネルギー基礎	A	1			1		
		環境科学	A	1					1
		環境保全工学	A	1			1		
		他大学等科目(学際)		2以内					2以内
	情報・制御群	≡ ロボットシステム	A	1				1	2単位以上修得すること
		電子計測制御	A	1				1	
		情報・制御基礎	A	1		1			
		コンピュータ化学	A	1			1		
		空間情報工学	A	1		1			
	他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
	材料科学群	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること
		電気電子材料	A	1		1			
		センサ材料工学	A	1				1	
		有機・高分子材料	A	1		1			
		建設材料	A	1				1	
他大学等科目(学際)		2以内				2以内			
修得単位計		2以上				2以上			
修得単位計		3以上				3以上			
修得単位合計(卒業認定必要単位数)		学際カリキュラム除く		86以上	6	12	20以上	24以上	21以上
		学際カリキュラム含む					68以上		

*:学際連携科目 # :専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

機械工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

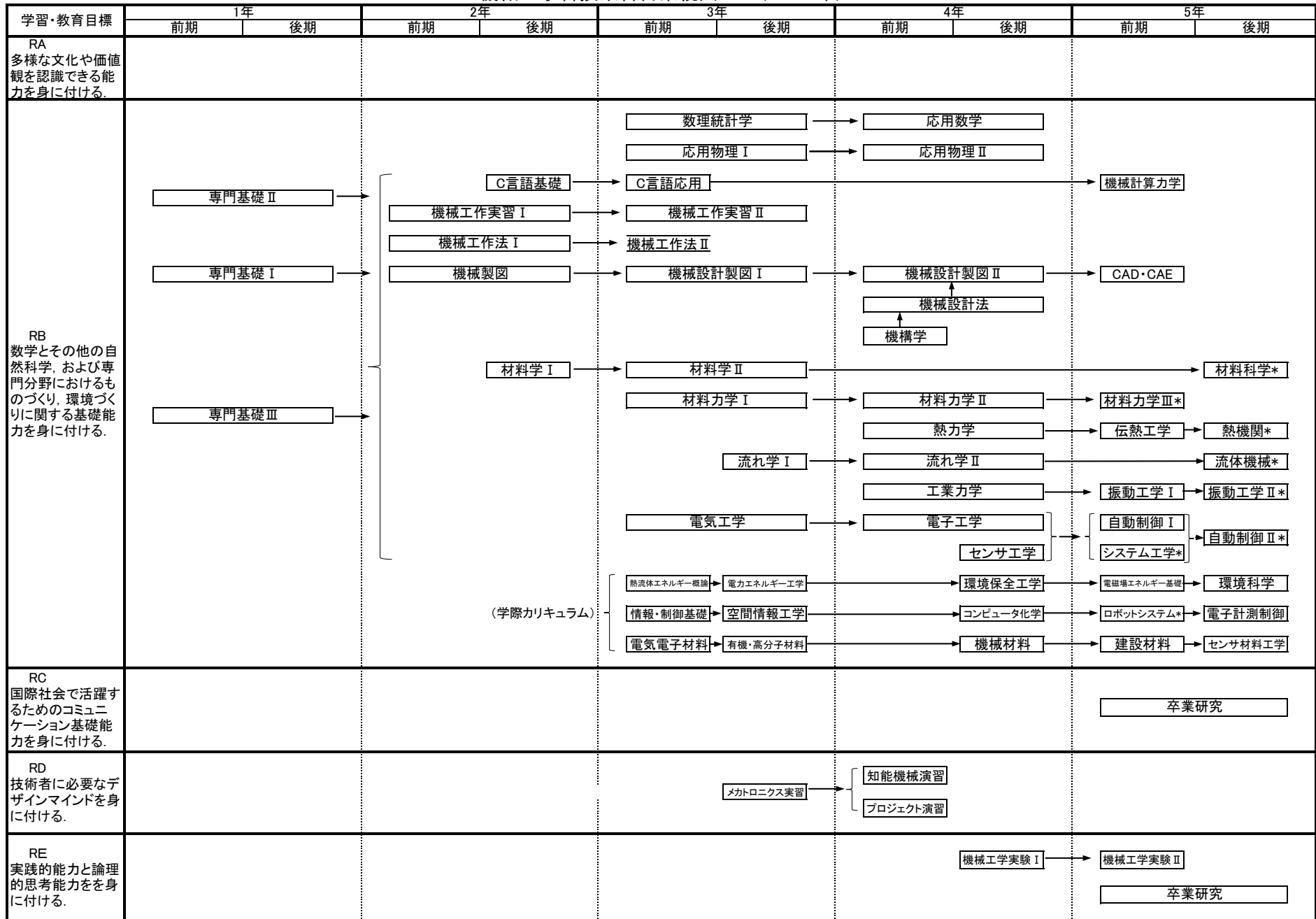
(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。

A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。

B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。

C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

機械工学科授業科目系統図 (1~5年)



本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 電子工学Ⅰ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システム論Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 電子工学Ⅱ 電子回路Ⅱ 情報処理システム論Ⅱ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発変電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 電気回路Ⅳ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 現代制御工学 電気電子設計 電気情報工学 技術者基礎 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		電気電子工学実験Ⅰ	電気電子工学実験Ⅱ 電子創造工学	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電気電子工学実験Ⅲ	電気電子工学実験Ⅳ
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電気磁気学Ⅰ 電気数学 電気回路Ⅰ 電気回路演習 情報処理Ⅰ	電気磁気学Ⅱ 電気回路Ⅱ 計測工学 電子工学Ⅰ 電子回路Ⅰ 情報処理Ⅱ 情報処理システム論Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 電気磁気学Ⅲ 電気回路Ⅲ 電子工学Ⅱ 電子回路Ⅱ 情報処理システム論Ⅱ 情報通信工学Ⅰ 電気機器 発変電工学 制御工学Ⅰ 機械工学概論Ⅰ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 電気回路Ⅳ 電子工学Ⅲ 電力系統工学 パワーエレクトロニクス 制御工学Ⅱ 機械工学概論Ⅱ 電気電子応用工学 情報通信工学Ⅱ 現代制御工学 電気電子設計 電気情報工学 技術者基礎 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		電気電子工学実験Ⅰ	電気電子工学実験Ⅱ 電子創造工学	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電気電子工学実験Ⅲ	電気電子工学実験Ⅳ
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

電気電子工学科(令和5年度 第1～2学年)

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
数理統計学		2			2			
応用数学	B	2				2		
応用物理Ⅰ		2			2			
応用物理Ⅱ	B	2				2		
専門基礎Ⅰ		2	2					
専門基礎Ⅱ		2	2					
専門基礎Ⅲ		2	2					
電気磁気学Ⅰ		2		2				
電気磁気学Ⅱ		2			2			
電気磁気学Ⅲ		1				1		
電気数学		1		1				
電気回路Ⅰ		2		2				
電気回路Ⅱ		2			2			
電気回路Ⅲ	B	2				2		
電気回路Ⅳ	A	2					2	
電気回路演習		2		2				
計測工学		2			2			
電子工学Ⅰ		2			2			
*電子工学Ⅱ	A	2				2		
電子回路Ⅰ		1			1			
電子回路Ⅱ		2				2		
情報処理Ⅰ		2		2				
情報処理Ⅱ		1			1			
情報処理システム論Ⅰ		2			2			
*情報処理システム論Ⅱ		2				2		
情報通信工学Ⅰ		2				2		
電気機器		2				2		
発変電工学	A	2				2		
制御工学Ⅰ	B	1				1		
制御工学Ⅱ	B	1					1	
機械工学概論Ⅰ		1				1		
機械工学概論Ⅱ		2					2	
電子創造工学		2			2			
電気電子工学実験Ⅰ		2		2				
電気電子工学実験Ⅱ		2			2			
電気電子工学実験Ⅲ		4				4		
電気電子工学実験Ⅳ		2					2	
卒業研究		9					9	
修得単位計		78	6	11	20	25	16	
*電気電子応用工学		1					1	
*情報通信工学Ⅱ		1					1	
*現代制御工学		1					1	
*電気電子設計		1					1	
*電気情報工学		1					1	
技術者基礎		1					1	
*電力系統工学		1					1	
パワーエレクトロニクス		1					1	
修得単位計		5以上					5以上	
必修科目								
選択科目								8単位中5単位以上修得
学際カリキュラム								群別に修得すること
環境・エネルギー群								2単位以上修得すること
情報・制御群								2単位以上修得すること
材料科学群								2単位以上修得すること
修得単位計		2以上			2以上			
修得単位合計(卒業認定必要単位数)		86以上	6	11	20以上	25以上	21以上	70以上

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。

- A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
- B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
- C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電気電子工学科(令和5年度 第3～5学年)

授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
数理統計学		2			2					
応用数学	B	2				2				
応用物理Ⅰ		2			2					
応用物理Ⅱ	B	2				2				
専門基礎Ⅰ		2	2							
専門基礎Ⅱ		2	2							
専門基礎Ⅲ		2	2							
電気磁気学Ⅰ		2		2						
電気磁気学Ⅱ		2			2					
電気磁気学Ⅲ		1				1				
電気数学		1		1						
電気回路Ⅰ		2		2						
電気回路Ⅱ		2			2					
電気回路Ⅲ	B	2				2				
電気回路Ⅳ	B	2					2			
電気回路演習		2		2						
計測工学		2			2					
電子工学Ⅰ		2			2					
*電子工学Ⅱ	B	1				1				
*電子工学Ⅲ		1					1			
電子回路Ⅰ		1			1					
電子回路Ⅱ		2				2				
情報処理Ⅰ		1		1						
情報処理Ⅱ		1			1					
情報処理システム論Ⅰ		2			2					
*情報処理システム論Ⅱ		2				2				
情報通信工学Ⅰ		2				2				
電気機器		2				2				
発変電工学		2				2				
*電力系統工学		1					1			
パワーエレクトロニクス		1					1			
制御工学Ⅰ	B	1				1				
制御工学Ⅱ	B	1					1			
機械工学概論Ⅰ		1				1				
機械工学概論Ⅱ		2					2			
電子創造工学		2			2					
電気電子工学実験Ⅰ		2		2						
電気電子工学実験Ⅱ		2			2					
電気電子工学実験Ⅲ		4				4				
電気電子工学実験Ⅳ		2					2			
卒業研究		9					9			
修得単位計		79	6	10	20	24	19			
*電気電子応用工学		1					1			
*情報通信工学Ⅱ		1					1			
*現代制御工学		1					1			
*電気電子設計		1					1			
*電気情報工学		1					1			
技術者基礎		1					1			
修得単位計		4以上					4以上			
必修科目	プロジェクト演習	1				1				
学際カリキュラム	環境・エネルギー	熱流体エネルギー概論	A	1		1			2単位以上修得すること	
		電力エネルギー工学	A	1		1				
		電磁場エネルギー基礎	A	1				1		
		環境科学	A	1				1		
		環境保全工学	A	1				1		
		他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
	情報・制御	ロボティクス	A	1				1	2単位以上修得すること	
		#電子計測制御	A	1				1		
		情報・制御基礎	A	1		1				
		コンピュータ化学	A	1			1			
		空間情報工学	A	1		1				
	他大学等科目(学際)		2以内				2以内			
	材料科学	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること	
		電気電子材料	A	1		1				
		センサ材料工学	A	1				1		
有機・高分子材料		A	1		1					
建設材料		A	1				1			
他大学等科目(学際)		2以内				2以内				
修得単位計		2以上			2以上					
修得単位計		3以上			3以上					
修得単位合計(卒業認定必要単位数)	学際カリキュラム除く	86以上	6	10	20以上	24以上	23以上			
	学際カリキュラム含む				70以上					

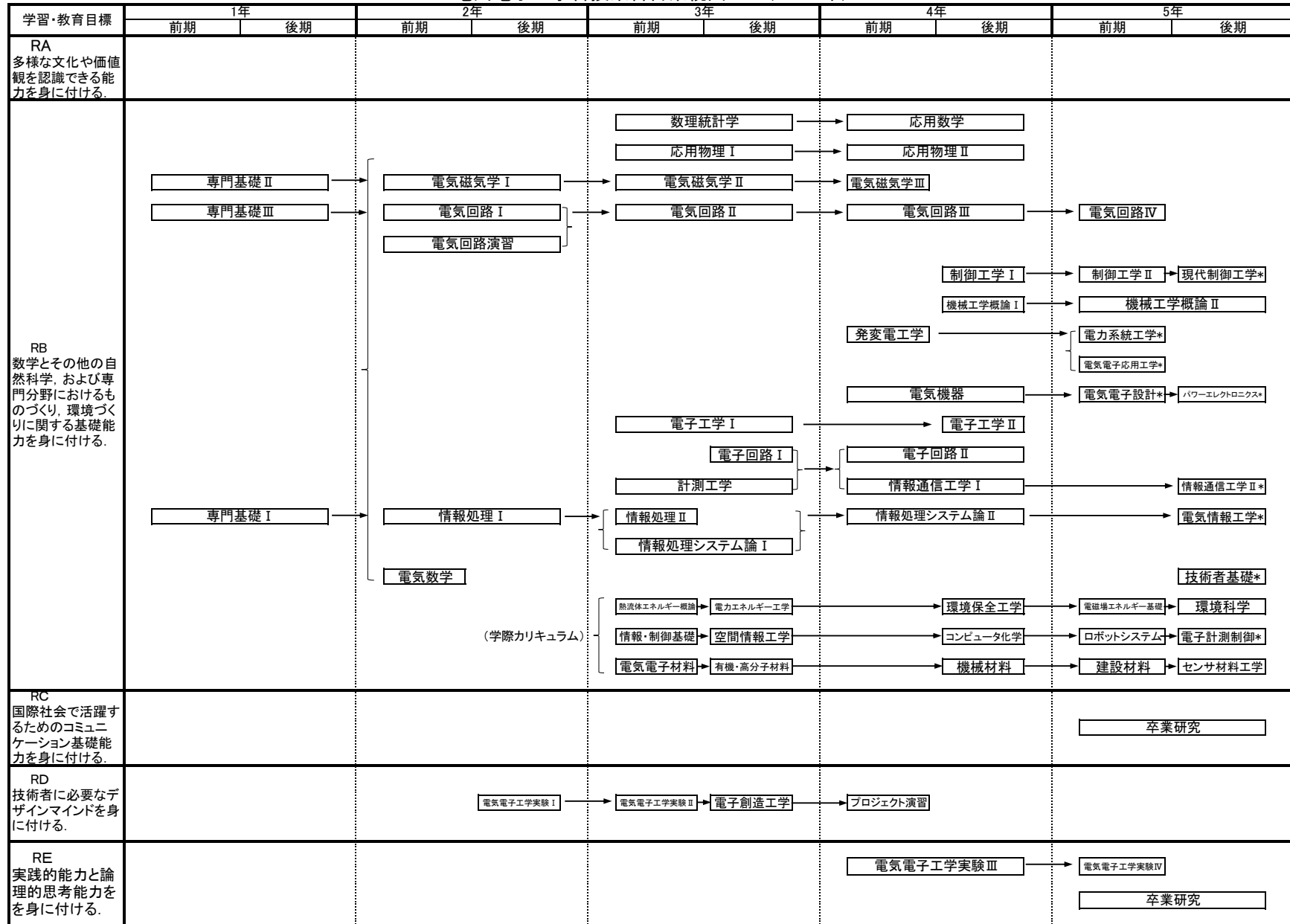
*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電気電子工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。

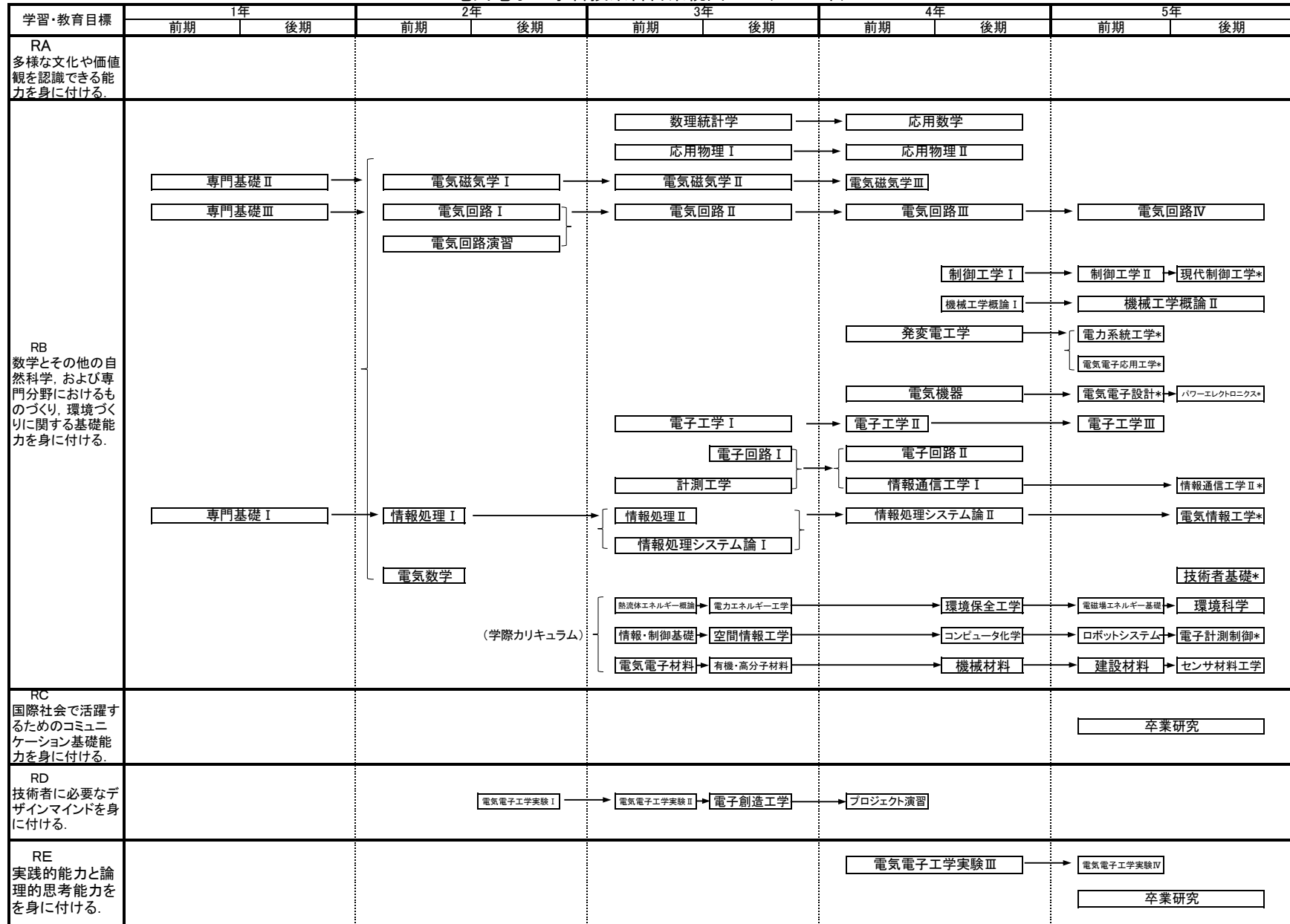
- A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
- B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
- C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電気電子工学科授業科目系統図 (1~2年)



*: 選択科目 #: 学際カリキュラム

電気電子工学科授業科目系統図 (3~5年)



*: 選択科目 #: 学際カリキュラム

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	電子工学基礎 情報工学基礎 プログラミング基礎 論理回路	電気回路 電子回路Ⅰ 電気磁気学Ⅰ 数値計算 プログラミング応用 計算機構成論Ⅰ オペレーティングシステム 情報ネットワーク基礎 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 機械工学概論 信号解析基礎 電子回路Ⅱ 電気磁気学Ⅱ 情報メディア工学 計算機構成論Ⅱ ソフトウェア工学 情報構造論 情報理論Ⅰ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 工業英語 制御工学 通信システム 情報ネットワーク 情報理論Ⅱ 情報数学 人工知能 計算機アーキテクチャ デジタル信号処理 システム工学 計算機シミュレーション 認知科学 データベース 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。	専門基礎 II				卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		情報基礎演習 電子情報工学実験 I	電子情報工学実験 II	創造工学演習 プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				電子情報工学実験 III	電子情報工学実験 IV
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

電子情報工学科(令和5年度 第1～5学年)

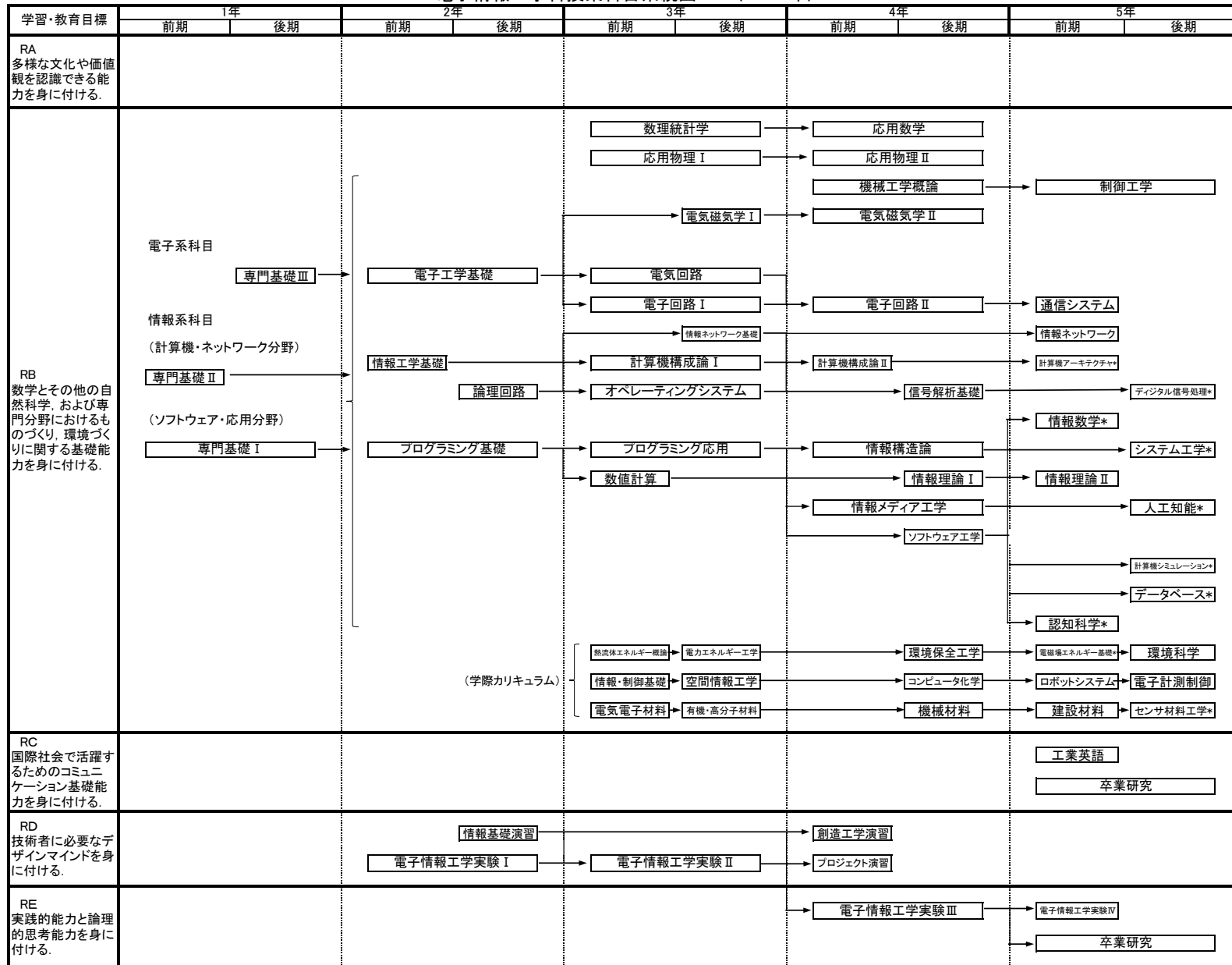
授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
数理統計学		2			2			
応用数学	B	2				2		
応用物理 I		2			2			
応用物理 II	B	2				2		
専門基礎 I		2	2					
専門基礎 II		2	2					
専門基礎 III		2	2					
機械工学概論	B	2				2		
電子工学基礎		2		2				
電気回路		2			2			
信号解析基礎		1				1		
電子回路 I		2			2			
電子回路 II		2				2		
電気磁気学 I		1			1			
電気磁気学 II		2				2		
数値計算		1			1			
情報メディア工学		2				2		
工業英語	B	1					1	
情報工学基礎		1		1				
情報基礎演習		1		1				
プログラミング基礎		2		2				
プログラミング応用		2			2			
情報ネットワーク基礎		1			1			
論理回路		1		1				
計算機構成論 I		2			2			
計算機構成論 II	B	1				1		
オペレーティングシステム		2			2			
創造工学演習		2				2		
ソフトウェア工学		1				1		
情報構造論	B	2				2		
制御工学		2					2	
通信システム		1					1	
情報ネットワーク	B	1					1	
情報理論 I		1				1		
情報理論 II	B	1					1	
電子情報工学実験 I		4		4				
電子情報工学実験 II		4			4			
電子情報工学実験 III		4				4		
電子情報工学実験 IV		2					2	
卒業研究		9						9
修得単位数計		79	6	11	21	24	17	
*情報数学		1					1	
*人工知能		1					1	
*計算機アーキテクチャ		1					1	
*ディジタル信号処理		1					1	
*システム工学		1					1	
*計算機シミュレーション		1					1	
*認知科学		1					1	
*データベース		1					1	
修得単位数計		4以上					4以上	
プロジェクト演習		1				1		
環境・エネルギー		1			1			
熱流体エネルギー概論	A	1			1			
電力エネルギー工学	A	1			1			
# 電磁場エネルギー基礎	A	1				1		
環境科学	A	1					1	
環境保全工学	A	1				1		
他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
情報・制御		1					1	
ロボットシステム	A	1					1	
電子計測制御	A	1					1	
情報・制御基礎	A	1			1			
コンピュータ化学	A	1				1		
空間情報工学	A	1			1			
他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
材料科学		1				1		
機械材料	A	1				1		
電気電子材料	A	1			1			
# センサ材料工学	A	1					1	
有機・高分子材料	A	1			1			
建設材料	A	1					1	
他大学等科目(学際)		2以内				2以内		
修得単位数計		2以上				2以上		
修得単位数計		3以上				3以上		
学際カリキュラム除く					21以上	24以上	21以上	
学際カリキュラム含む		86以上	6	11			69以上	

*:学際連携科目 # :専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

電子情報工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

電子情報工学科授業科目系統図 (1～5年)



* : 選択科目

令和5年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

物質工学科 (1~5年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 ドイツ語 中国語 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	分析化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 情報化学Ⅰ	分析化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 有機化学Ⅱ 高分子化学 物理化学Ⅰ 化学工学Ⅰ 生化学Ⅰ 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	日本語Ⅱ 基礎工学概論 工業英語 機器分析 基礎材料化学 物理化学Ⅱ 化学工学Ⅱ 生化学Ⅱ 情報化学Ⅱ(微生物学) [材料化学] (生物工学コース) [材料工学コース] 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 無機化学Ⅲ 有機合成化学 物理化学Ⅲ 化学工学Ⅲ 生命科学 品質管理(食品科学) (分子生物学) (生理学) (栄養化学) [材料工学] [反応工学] [応用電気化学] [高分子材料設計] 創薬化学 食料生産工学概論 (生物工学コース) [材料工学コース] 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学

大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語Ⅰ コミュニケーション	英語Ⅱ	英語Ⅲ	英語Ⅳ	英語Ⅴ 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語Ⅰ	国語Ⅱ	国語Ⅲ 日本語Ⅰ	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		物質工学実験Ⅰ	物質工学実験Ⅱ	プロジェクト演習	
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。				(生物工学実験Ⅰ) [材料工学実験Ⅰ] (生物工学コース) [材料工学コース]	(生物工学実験Ⅱ) [材料工学実験Ⅱ] (生物工学コース) [材料工学コース]
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育Ⅰ	保健体育Ⅱ	保健体育Ⅲ	生涯スポーツ実習	

物質工学科(令和5年度 第1～5学年)

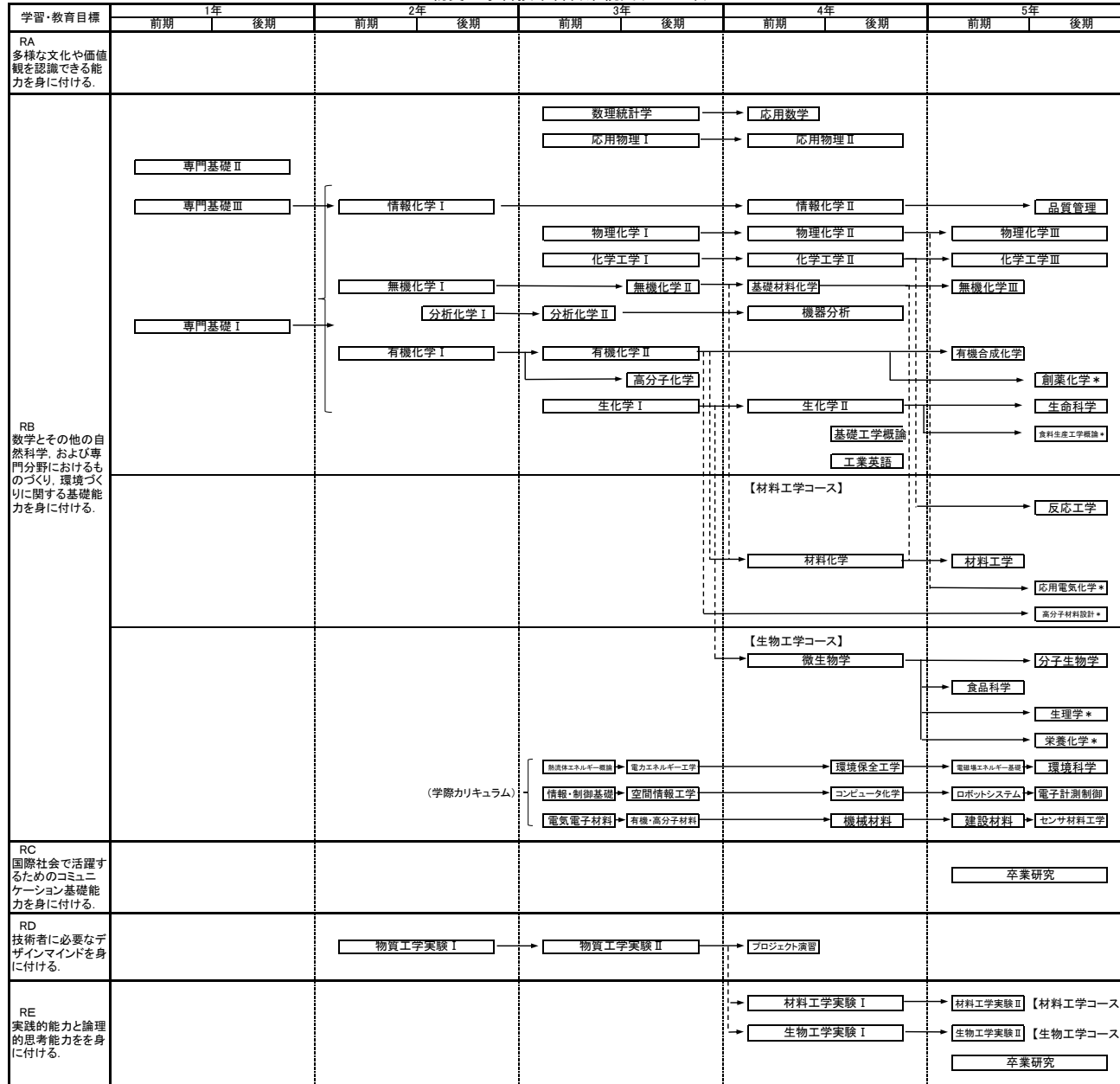
授業科目	単位種別	単位数	学年別配当					備考		
			1年	2年	3年	4年	5年			
必修科目	共通	数理統計学	2			2			コース別に修得すること	
		応用数学	1				1			
		応用物理Ⅰ	2			2				
		応用物理Ⅱ	B	2				2		
		専門基礎Ⅰ		2	2					
		専門基礎Ⅱ		2	2					
		専門基礎Ⅲ		2	2					
		基礎工学概論	B	1				1		
		工業英語	B	1				1		
		分析化学Ⅰ		1		1				
		分析化学Ⅱ		1			1			
		機器分析		2				2		
		無機化学Ⅰ		2		2				
		無機化学Ⅱ		1			1			
		無機化学Ⅲ		1						1
		基礎材料化学		1				1		
		有機化学Ⅰ		2		2				
		有機化学Ⅱ		2			2			
		高分子化学		1			1			
		有機合成化学		1						1
		物理化学Ⅰ		2			2			
		物理化学Ⅱ	B	2				2		
		*物理化学Ⅲ	B	2						2
		化学工学Ⅰ		2			2			
		化学工学Ⅱ	B	2				2		
		*化学工学Ⅲ	B	2						2
		生化学Ⅰ		2			2			
		生化学Ⅱ		2				2		
		生命科学		1						1
		情報化学Ⅰ		2		2				
		*情報化学Ⅱ		2				2		
		品質管理		1						1
		物質工学実験Ⅰ		5		5				
物質工学実験Ⅱ	C	4			4					
卒業研究		8					8			
生物工学	微生物学	A	2			2		コース別に修得すること		
	食品科学	A	2				2			
	分子生物学	A	2				2			
	生物学実験Ⅰ	C	4			4				
	生物学実験Ⅱ	C	2				2			
材料工学	材料化学	A	2			2		コース別に修得すること		
	材料工学	A	2				2			
	反応工学	A	2				2			
	材料工学実験Ⅰ	C	4			4				
	材料工学実験Ⅱ	C	2				2			
修得単位計			81	6	12	19	22	22		
選択科目	共通	*創薬化学	1				1	コース別に、4単位(共通及びコース別開設単位数の合計)中2単位以上修得すること。		
	共通	*食料生産工学概論	1				1			
	ス学生コ物Ⅰ工	生理学	1				1			
	ス学生コ物Ⅰ工	栄養化学	1				1			
	ス学生コ物Ⅰ工	応用電気化学	1				1			
	ス学生コ物Ⅰ工	高分子材料設計	1				1			
修得単位計			2以上				2以上			
学際カリキュラム	プロジェクト	プロジェクト演習	1				1	群別に修得すること		
	環境・エネルギー群	熱流体エネルギー概論	A	1			1		2単位以上修得すること	
		電力エネルギー工学	A	1			1			
		電磁場エネルギー基礎	A	1			1			
		環境科学	A	1			1			
		環境保全工学	A	1			1			
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	情報・制御群	ロボットシステム	A	1			1		2単位以上修得すること	
		電子計測制御	A	1			1			
		情報・制御基礎	A	1		1				
		コンピュータ化学	A	1			1			
		空間情報工学	A	1		1				
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	材料科学群	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること	
		電気電子材料	A	1		1				
		センサ材料工学	A	1			1			
		有機・高分子材料	A	1		1				
		建設材料	A	1			1			
		他大学等科目(学際)	2以内				2以内			
	修得単位計			2以上			2以上			
	修得単位計			3以上			3以上			
修得単位合計(卒業認定必要単位数)		学際カリキュラム除く	86以上	6	12	19以上	22以上	24以上		
		学際カリキュラム含む					68以上			

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

物質工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
 A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
 B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
 C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

物質工学科授業科目系統図(1~5年)



*: 選択科目

令和5年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

環境都市工学科 (1~5年)

本科(準学士課程)							
大項目	小項目		1年	2年	3年	4年	5年
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史Ⅰ 地理Ⅰ 地理Ⅱ	歴史Ⅱ 公共社会Ⅰ	公共社会Ⅱ 公共社会Ⅲ	第2外国語Ⅰ	歴史学特講 哲学 第2外国語Ⅱ 第2外国語Ⅲ 言語文化特講 日本文学論
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A 基礎解析B 物理基礎 化学Ⅰ 生物	解析Ⅰ 線形代数 物理 化学Ⅱ	解析Ⅱ 数理統計学 応用物理Ⅰ 基礎数学 基礎物理	解析Ⅲ 応用数学 応用物理Ⅱ	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	専門基礎Ⅰ 専門基礎Ⅱ 専門基礎Ⅲ	構造力学Ⅰ 測量学 建築計画Ⅰ 建設材料学Ⅰ プログラミング	構造力学Ⅱ 建設材料学Ⅱ 水理学Ⅰ 地盤工学Ⅰ 環境衛生工学 応用測量学 環境都市計画論 熱流体エネルギー概論 電力エネルギー工学 情報・制御基礎 空間情報工学 電気電子材料 有機・高分子材料	構造力学Ⅲ コンクリート構造学Ⅰ 水理学Ⅱ 建築環境Ⅰ 地盤工学Ⅱ 交通工学 施工管理学 建築計画Ⅱ 環境保全工学 コンピュータ化学 機械材料	工学倫理 鋼構造学 コンクリート構造学Ⅱ 建設複合材料 河川水文学 海岸工学 建築環境Ⅱ 建築設備Ⅰ 建築設備Ⅱ 地盤防災工学 地震工学 地域都市計画 建設法規 建築意匠 建築史 数値解析 メンテナンス工学 建築計画Ⅲ 特別学修 電磁場エネルギー基礎 環境科学 ロボットシステム 電子計測制御 建設材料 センサ材料工学

RC 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	英語 I コミュニケーション	英語 II	英語 III	英語 IV	英語 V 英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。	国語 I	国語 II	国語 III 日本語 I	国語表現	日本語表現演習 卒業研究
	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
RD 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。		環境都市工学設計製図 I 環境都市工学実験実習 I	環境都市工学設計製図 II 環境都市工学実験実習 II	環境都市工学設計製図 III プロジェクト演習	環境都市工学設計製図 IV 環境都市工学設計製図 V
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析方法を学び、理論との比較や考察などができる。				環境都市工学実験実習 III	構造デザイン
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	保健体育 I	保健体育 II	保健体育 III	生涯スポーツ実習	

環境都市工学科(令和5年度 第1～5学年)

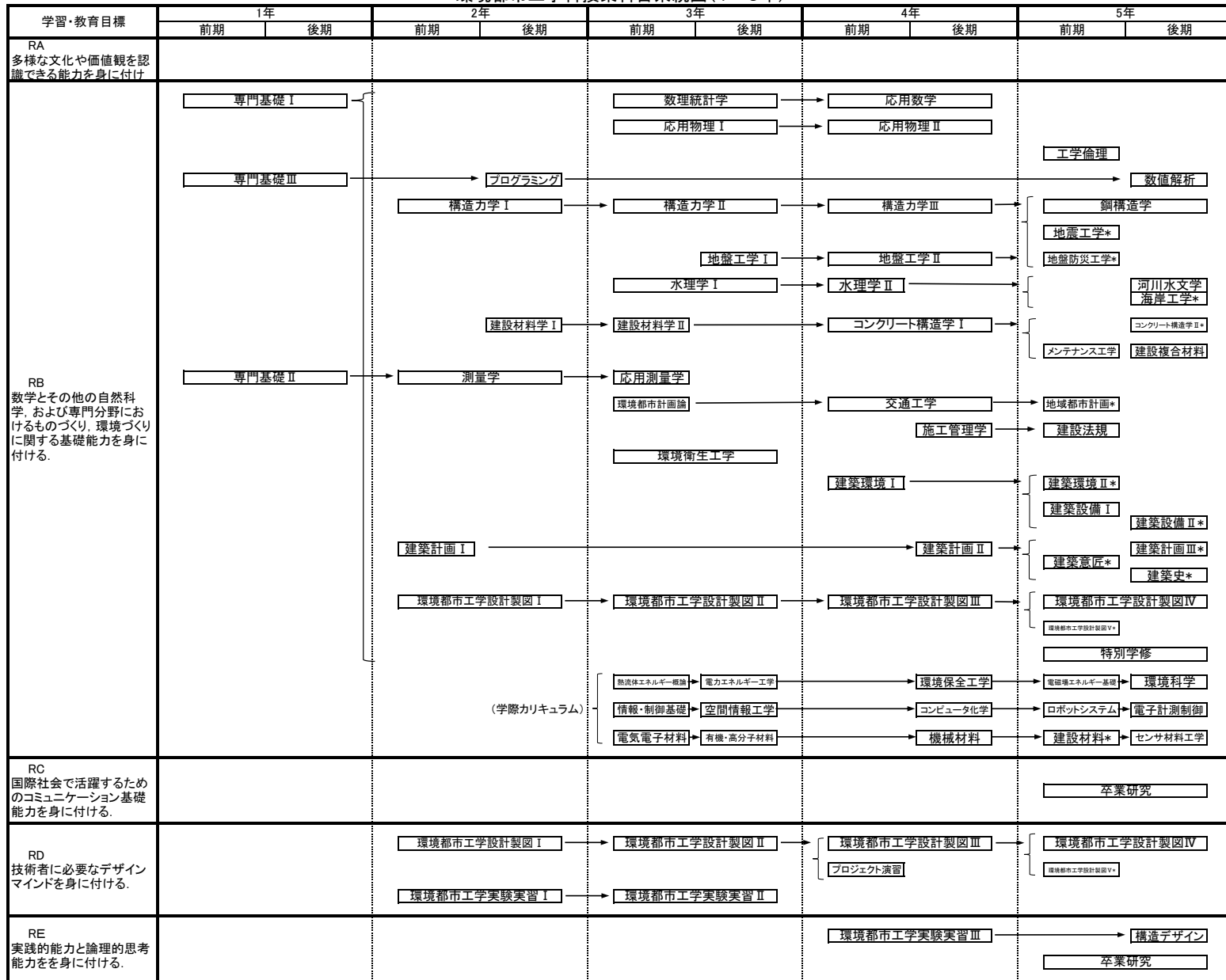
授 業 科 目	単位 種別	単位数	学 年 別 配 当					備 考	
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
数理統計学		2			2				
応用数学	B	2				2			
応用物理Ⅰ		2			2				
応用物理Ⅱ	B	2				2			
専門基礎Ⅰ		2	2						
専門基礎Ⅱ		2	2						
専門基礎Ⅲ		2	2						
プログラミング		1		1					
数値解析		1					1		
構造力学Ⅰ		2		2					
構造力学Ⅱ		2			2				
構造力学Ⅲ	B	2				2			
鋼構造学		2					2		
コンクリート構造学Ⅰ	B	2				2			
建設材料学Ⅰ		1		1					
建設材料学Ⅱ		1			1				
建設複合材料		1					1		
水理学Ⅰ		2			2				
水理学Ⅱ	A	2				2			
河川水文学		1					1		
地盤工学Ⅰ	A	2			2				
地盤工学Ⅱ	B	2				2			
環境衛生工学		2			2				
建築環境Ⅰ		1				1			
建築設備Ⅰ		1					1		
測量学		2		2					
応用測量学		1			1				
環境都市計画論	A	2			2				
交通工学		2				2			
施工管理学	A	2				2			
建設法規		1					1		
構造デザイン		1					1		
建築計画Ⅰ		1		1					
建築計画Ⅱ	A	2				2			
環境都市工学設計製図Ⅰ		2		2					
環境都市工学設計製図Ⅱ		2			2				
環境都市工学設計製図Ⅲ		2				2			
環境都市工学設計製図Ⅳ		2					2		
環境都市工学実験実習Ⅰ		2		2					
環境都市工学実験実習Ⅱ	C	2			2				
環境都市工学実験実習Ⅲ	C	2				2			
卒業研究		9					9		
修得単位数計		79	6	11	20	23	19		
選 択 科 目	*地盤防災工学	1					1	14単位中4単位以上修得	
	*地震工学	1					1		
	*コンクリート構造学Ⅱ	1					1		
	*地域都市計画	1					1		
	*海岸工学	1					1		
	*メンテナンス工学	1					1		
	建築史	1					1		
	建築意匠	1					1		
	*建築環境Ⅱ	1					1		
	*建築設備Ⅱ	1					1		
	*建築計画Ⅲ	A	2				2		
	環境都市工学設計製図Ⅴ	1					1		
	特別学修	1					1		
修得単位数計		4以上				4以上			
学 際 カ リ キ ュ ラ ム	プロジェクト演習	1				1		群別に修得すること	
	環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 群	熱流体エネルギー概論	A	1		1			2単位以上修得すること
		電力エネルギー工学	A	1		1			
		電磁場エネルギー基礎	A	1			1		
		環境科学	A	1			1		
		環境保全工学	A	1			1		
		他大学等科目(学際)		2以内			2以内		
	情 報 ・ 制 御 群	ロボティクスシステム	A	1			1		2単位以上修得すること
		電子計測制御	A	1			1		
		情報・制御基礎	A	1		1			
		コンピュータ化学	A	1			1		
		空間情報工学	A	1		1			
		他大学等科目(学際)		2以内			2以内		
	材 料 科 学 群	機械材料	A	1			1		2単位以上修得すること
		電気電子材料	A	1		1			
		センサ材料工学	A	1			1		
		有機・高分子材料	A	1		1			
#建設材料		A	1			1			
他大学等科目(学際)			2以内			2以内			
修得単位数計		2以上			2以上				
修得単位数計		3以上			3以上				
修得単位数計(卒業認定必要単位数)		86以上	6	11	20以上	23以上	23以上	69以上	
学際カリキュラム除く									
学際カリキュラム含む									

*:学際連携科目 #:専門選択科目に単位振替可能(単位の付与は学際カリキュラム科目又は専門選択科目のいずれか一方とする)

環境都市工学科の全課程の修了の認定に必要な単位数は、平成30年度以降の入学者については167単位以上(そのうち、一般科目については81単位以上、専門科目については86単位以上)、平成29年度以前の入学者については169単位以上(そのうち、一般科目については83単位以上、専門科目については86単位以上)とする。

(注)学修単位の単位種別は次のとおりとする。
A:15時間の授業と30時間の授業外学修で1単位とする。
B:30時間の授業と15時間の授業外学修で1単位とする。
C:45時間の授業で1単位とする。(実験、実習のみ可)

環境都市工学科授業科目系統図(1～5年)



*: 選択科目